中村俊定文庫
文庫 18
1039

東道滑稽十返舎一九 著

膝毛五栗編

全二冊

膝栗毛五編序

歌人は居所の名所を走る。雅人は行て名不知探る。今年五篇目の猿栗毛を十編金法

中村俊定文庫

主人の手跡をかいてくれ
とりかけて伊勢の海
子路の貢ふ深くうがちく
酒盃を花ちる貝おし。温を
尋て新しき。題句を見すれ

序

筆のすさび。予も猶ふうう
名所をえて馬。をかる新なる
序すなわち。是作者の需ふ
遂ずしてという。其の皮をもて先も
せぬ筆を採し。其跡の

一杯がすき田のむ気の。香ふ
ひのれるうかきんさ。ころ
香余景ごとの仕るゝと　いと
謂んを

文化丙寅春　　竜山人蘭夜誌

十返舎一九

附言 併凡例

今年神無月廿日ばかりにて。
[illegible]より杖をたゞ世に伊勢[illegible]
して帰りしに雪ふるこの頃
編目の芋虫より加賀。郡上
年をわくてはしばらふいづれの人
編よりの宣教の古俳
歩みなる人のもとに。
同まるまで挑灯でまゐ

ちかくにかくれかるる事の文をとりてふるて
せざるこそふ雪ふれそハ名を書る人ゐ
さそそるのほちるべ紙歌。
ハ[illegible]の芋虫ちりて此秋今年毎日ふる
まて。刷てつくるを蘭いめる人のあるをと。
[illegible]の盃[illegible]の尾を[illegible]
さらるまおぼけの雨し
或人問ひ事和俳をく[illegible]
北八なるもの。新[illegible]

江都と云ひしより紙屋川のほ
とり。手蓋川。おなじ所の初瀬川。その
ながれ。玉人情の美別。方言の
おのづから。さ俗なるを。弟子の
十指と出でゝ。さの中にのぼさと穿鑿じ
ゆりて。京ぶりの本ぶりあるべきを
とりて。遠方にもせて
四時中版業おびゝ所の名あり
あらハしてるゆゝ。こゝに作者の狙ひ

てゝ。京ぶりを遠ざけるを仕撰しるの
あなれて。こゝ変をもて。海北八の四
市泊の浦所に
来海を遠ざけると上きゝし。こゝ奈伊世
路ふかりて。ゆ無ふく紀ぶを遠ざ尾。南山
四ふ山ぶの手をとゞあて。後編より妙見所の名
おゝ古市の移乗。相の心の名ぶ市とあらハし
後て山ゝ板を

蒙と聞及貴公才
一通相逢親十回
探得神都紳代宛
翻々棄毛素

右

初逢十返舍一九生自牧力及
還戯駅以送
歌茅園牧

東海道中膝栗毛五編上

十返舍一九著

京都帝国大学図書館

宮重大根のごとくうねくねとして長物語の姫君の艶容を七重の月に洗ゆるふしぶしに柔法の波紙羅ちらく。華々ふたきする桜びのあまりのあんぶの鏡蛤よ汐くみ船いとしの浜辺命を奪ふ八ちるものやうでと多とうるせ。ちりがるよ。此法諸人のうらうらとさけび待つ門出でぶ。ぶ。ぶ。

尾張
椒芽子
田乗

おゝ無が情ぶ和ヤレコリヤ。よヲしゝくよゝ〜コレ其報元安り
るのゝんせんゝよヲゝよゝ〜よゝ〜やもんよ。ゝんご面子で
中ゝまんゝよヲゝよゝ〜よゝ〜せゝろゝく世文でのるぐんゝそん
ちゝゝよヲせよせ〜ヒインゝ〜ちゝ和ハナア進まよ
ゝゝけてもゝるちンエ。ちゝゝサア。あゝ田よ海ゝゝゝやナアンアエ
八全来ぞ。さゝるでものんゝちゝ。なんぐちゝ和ゝア。ぐり
ゝんゝゝ〜なんゝ泛きゝん。なやもちぐさゝぐぶゝとう
ちゝよゝぐやゝちゝゝ。おゝの前ゝゝゝゝゝごのゝとゝちゝよ

あゝてひゝゝぐひゝゝうゝちいで。半日ぐゝふ見形ゝ家ち
のちゝちんぐぐゝろゝう〜コリヤおりゝゝれよゝゝゝまぐ
おゝゝゝ。見形をもぐめゝるぐ〜ゝアいゝがゝゝちゝ
ゝよハゝぐゝゝ。ぜゝぐゝゝふゝ者せゝ。勿論ぐんなゝ
も他のあゝらひゝゝぐひふぐんゝるゝ毎ちゝ〜ふゝゝ。
やせゝゝぜ〜ちゝゝるゝよゝトいゝゝゝあゝゝ行一をさゝくし泳
ゝけて〜先ゝゝゝゝふおゝ人見形ゝよゝいゝゝゝゝゝゝもので出
ゝけよゝ。ちトよゝゝぐど。元がちゝて和るぐゝトあゝゝ者と

モシ其方へ参んざいの天気でござりまして風が
風でありそうでござりまして
ト
かふまちのごとく
おりそうくゆくなぐ
まちもちふく村。安中村を手出
町や川ふさりそれの場をあるを
旅人を茶屋の暖簾招くせく
のぼりくだりと中ちや屋川ある
彩手負てあるを村おかけ村ふてだりつく。山あるも
峠の名酒。旅人を乗けて。少坪の所を行くく
おきりまアせ。法白もおめしもだりまこと。

おきてくあるうまアせ〳〵紀かるいろ手ふるなこれ
かく二百里の長下坂ゆがどもあらしてめるぬらいかに
くぬ一ぬのおやこ。其形とのせりふそれんせ。戻り
おやや。やまあふ一ぐ入合へ。おひるふがおまえぐ一ふいまぐ。
モシ其形。やまとしてやく者ふらいやぐるく
るなりのりやまりそ〳〵。るらして三百いてきま
まるうんを一らやぐ〳〵。りちけとうくやま紀今ハアまんぐ
やまいなり。やこげんこで一三百五十貫五百だりあり。の一て

やうかう[ご]ものそうさ。且〜かも商売がうまくゆかよ
わるいとでうれませぬ。せめて百でもしてやんせうと
はこ[ば]れでも出ないうちいやご[ば]まこんでゐまん。
そうさう。且うれる七百ぐんせ[ば]ゆくめんどぶぬうみし
きを要る百よりまうねく[ば]たてねこまうこりんどや。
それよりちくもまうまいう[ば]まうぬく[ば]ゆなんの
えるまどやかごうなのなうう。稼ぎるいうめづらしいまよ
がうごときメあるねでゐうまいう。サア上れめしませ〜

はこ[ば]れでいうそうくのうちゆるうふ汐はをとうもう人
世もうのみやちうあがいてんう[ば]あげませどとう[ば]ゆへ
ちううさそうのうて。きを要百る拵又。こうち人汐はを出し
ひうて。のうるうちのかどちんぐぶ。そうれで取ちうごぶ
[ば]ゆそんなこんであうぎ。さひうもなん[ば]ゆこでまげ
るんきうどうさ[ば]ゆうのうの上れめどうそく
よび人をのせるけうでかる家乃
るん出ばよかいつぶれよりれ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

あんぶ[illegible]て合点。たゝはけの[illegible]難でコレ[illegible]。あ〜
ぢうぶ[illegible]ぢうけふ[illegible]と[illegible]ん[illegible]ゆみ[illegible]ぢめて
[illegible]ぢとむた[illegible]ぢうぢう。[illegible]あうぎれぢ[illegible]
〜と[illegible]ぢ。これのあんまり[illegible]ぢ[illegible]
ぢうぢのひもぢ〜ん[illegible]のぢゃ附ふ。[illegible]ぢ
[illegible]あげ[illegible]ト大[illegible]ぢ[illegible]
[illegible]ん[illegible]せいろ[illegible]ぢ[illegible]
コレ〜ぢのむ[illegible]ぢ[illegible]ぢ[illegible]ぢ

のいこのぢう心すり。飯泉[illegible]の二セ[illegible]ぢ。
ぢ[illegible]ぢ[illegible]ぢ。[illegible]むぢ[illegible]。[illegible]ぢ[illegible]の
いのぢ。[illegible]ぢ[illegible]ぢ[illegible]ぢ[illegible]
ぢ[illegible]ぢ[illegible]ぢ[illegible]ぢ[illegible]
[illegible]ぢ[illegible]ぢ[illegible]ぢ[illegible]
いぢ[illegible]ぢ[illegible]ぢ[illegible]ぢ[illegible]
[illegible]ぢ[illegible]ぢ[illegible]ぢ[illegible]
[illegible]ぢ[illegible]ぢ[illegible]ぢ[illegible]
[illegible]ぢ[illegible]ぢ[illegible]ぢ[illegible]

あさけのさゝ
原川
さゝ原も
東名を
いて
さゝの名の
泉橋きけそ
いゝ原川

尾陽
蛙面水

日永川
今ゝひし
あさ橋の
さゝも
ちきれ
ゝ
海の日永の
旅ゝうれて

仝
南瓜蔓人

ちゃ。ちょうまかろ。ト女のちゃを
ちゃ。ヲ中ゝ。ぜんち
さるいよ。入てじゃ。おれ。ト
コレよさんせ。とうぬ人さんじゃ。じゃでも。おらとべ
やきくまやアぐる。トぜゝこでゝとかうち。女中あれ
ちゃん時ぜゝかゝセッでぐりまを。ゴヨシ。ちめさく。絵束の
ちゃう。ちゃう。おれが長ぶさるぶ。コりゃゝ。活ゝ。
おれちゃるもかるもの。茶あきゝ。ちゃう。
ひゃんませう。いゝ。ざうり。ちゃ。ト。ちゃれ。ちゃけば

ちゃうぜ。コレ。ちゃ。ちゃぢゝぶ。けぶ。活ゝ。
ちゃぐゝまめ。ちゃぢゝけぶ。ひゃう。ちゃの。ちゃぶいゝ。ちゃ。ちゃて
ちゃう。イヤ。ちゃ。ちゃ。ちゃて。まめ。ちゃ。ちゃの。ちゃぶ。ちゃの
茶。ちゃ。ちゃ。ちゃ

コヤぞふまる。きんゝゑぐこげゝゝア　トりゑちゃゝゝりひゑの
ゑぐうのうゝ　まづい。ゆ安ゑでおめでゝ　まのあいせやをひろげゝく。
ぎゑア　ゑ　へとんざめふあいゝ　おけごいどごうませぬう
けごいせぬぐ。まぐ　ゑの中ぐ　ひゝゝ　まるゝゝゝ
ゑ月　ゑ　まいまぐ入ゑ　ゑ　ゑぐもまるぐうの
ゆけごふ　けけてよむ　さうれゝゝ
それよう　ゑ　ゑ　ゑ。ゑう村ハ懸とおる。ヒゝゑ
あゝゝ川よいゝ。冒市の宗引出向ひでゝとゝ

いれやるぞ。そして酒も菓子も出しやうぞ。コリヤアごまめ
てもの、きめて。別に茶代を弐百文はりの不。
ゆつたりゆつたんぐらし。大江ふ安心。きさるの不。
その法りで祝をさとるぐらいこまうまいとぶくたば
なぐつちられてゆくもなーふ。ふの市の用サアそでざさうまを。コレ
ぐつぐるふいこれべ。ぐりけぶして
おしまりさるじゃ中ぐの廿房おをやうおつ紀ちきいまさト
あいさろのうちやうハうつじと。ぐるぐつ石ぎ世べいろてもこうしき
宿ものぐちふきけうこそよふいぐるぜんるとこれうぐるつはいの
あるさいをもこ。ぐるへ。ぐるこ。しうもさるまあ。まうこ。おきこ。くみ

ぐつ。ろ。ぐのおあく出いろうきよふちこれてるさうさ。せ
ぐまぐぶんよーさ。ぐさ。ぐうちなうこれ人トあんろうしてわくの
いるうの。ぐさ。ぐはあんちまこ。ぐ。ぐ。ぐおを。ぐうぐうせこ。ぐ。ぐこ
びれこ。ろいこ。ぐまぐぐふお風呂ふ。ぐ。ぐ世界ち肉
いこ。ぐまぐうぐ。ぐドりやおさ紀人まれろうトまやびをさげて
あぐこぐぐうこ。ぐき。ぐおこここ。ぐ入ぐ世ぐ。ぐ。ぐ。

こゝろまちまてまちまつこと。今ひとつの[illegible]
[illegible]へあらまつまつ[illegible]イヤ
それへどざりませぬ。[illegible]ことあるぐ[illegible]
パツくしく。ちやうあ[illegible]ぐるい。ちろちのいぎく
だあい。[illegible]
[illegible]ぐつちぬ。[illegible]せん。[illegible]
[illegible]あちまのひざをめしそちく
のきりんと[illegible]ちちこ。ツくく。イヤこちんる[illegible]の[illegible]
[illegible]こいいちちんちつていちんせ[illegible]ちちく

ぐ[illegible]ふちいちん[illegible]
[illegible]ちませ[illegible]ぐぶあ。あぐるやちちぐちちくぜ
[illegible]今の[illegible]を風呂[illegible]ぐちちちびく[illegible]
[illegible]ちんつちちちふちぐふ[illegible]
ぬる[illegible]おぬちくちぐちませぬちくいちぐちぜあちちち。
まぐふちちで[illegible]ちちぐびちちいて[illegible]
かちちおめ[illegible]ふ入てまちてぬちち[illegible]
ち久[illegible]ちちちちぐちちちけちぐちまちちく。

ドヽ
へて来やせう　トはなしゝゆるゝ又ハイ結納に入ませぬ人
ひろうあきんと人
白湯あがりませぬ　ヤハ　ヨツトそのまゝちうをあしらへる
ヨトこゝよしゝ　トちきらんまつぶせてぜひともひ
あのまゝちうをあかあがりけ　よしゝ。これで
くらびれがやまるぞろ。ごあうこもはめんちうこいやぞい
ととろ　トよこふ祝うけう。はは内はなしゝ湯
いつゝふまゝぞ。まゝのゆひをこなくふあゝひて。きだらくのうち
まちがけこゝ。おまうゝ。ぞ湯をしてゆけふあゝ。ぞむのためかもれて
ぞまうゝゝうゝゆかハまゝうふはなしゝぞがゆゝまゝゝふぞくのぞをま
きうこの　アゝゝ　はなきんごふゝゝ　コリヤこらへんご　はなし
ぞ　はなきん　ヨヽゝゝゝ　ゝゝゝゝ　ゝゝゝ　ゝゝゝ　ゝゝゝ

はゝ　ゝゝゝゝ　ゝゝゝ　ゝゝゝ　ゝゝゝ　ゝゝゝ　ゝゝゝ

尾陽
焙鳳舎
潤山領
一樹のうみの
水債
絵りて

ぢ〻ぐ〻ふらの手塩らら〻ふ〻ぢ〻ぶ〻ふ〻ぢ〻ぶ〻ふ〻ぢ〻ぶ

ちらふちらつせん。さそ〳〵ぶりふ
あ〳〵まいりもでもちいぐ。ろちであさまとよけらふ
さとる〳〵。みあ〳〵でさぐ〳〵まいいてへちぐ〳〵りのふさい
せるちんぜんのあさまア。ちぐふはろけさろせさを
まちん〳〵（漢）ツリヤおきのぐくるちぐ〳〵。ぢちんちなせへは
ちふふおあいやぐさるも。他生（さぜ）の縁（えん）〳〵。ぐ〳〵（まるけん）ぐ〳〵
して用てちさりちせ（異）ちんさぐをふいいつせちやぐ。さう
さいもぐでもちいふ。あんちうんと。ぐうふさ。ふうえう

なまちひ
（異）ちさりもさ酔ぐう〳〵。ぬんあ〳〵てうんちなせへ（異）イヤちんぐ
まるさんへはしぐもとぐうふさうせる。宮（さのぐん）あう〳〵月んて
おるふ酒ものまちんで。生酔〳〵へ和ぐ〳〵ぬ〳〵ちちあ〳〵
ちいりはへ（究）ちそてうちちへ酒とのぐ〳〵ぬせぬぐ。ぢはぐ。ぢはぐ。ぢはぐ
酔ぐう〳〵（異）十二見ぐ酒とのむちんう。ぐちアつくさうせうな
（異）おあへ（大分）ぐぐぶあつくちうのあ〳〵ぐ酔（まう）〳〵ちうへ（見物）さうき燒（やき）
酎（ちう）とふちちけさう〳〵。ぢはぐ酒あ〳〵あぐ酔くまうて。ぢれ
らあぐうぢ。ひまうう〳〵。ぢ。ちぐおめへのあ酒ふかう〳〵ぢ

きょうこりゃ〳〵　畳
一ちんみょうさんの坊さん。ほうしゃ
八
一さんゆうさ。あゝいやだのはぐがようなごぜうやを。ろくちん
げこ
まさてふこうまりまてる一ちんちんちゃうやごぜろ。ちゃ稲ま
畳
らまんろ。女中〳〵。稲ごところとうのこうまりとト清女まり
ごとこうとう稲ろまし。畳まめうろいまところげやらやぜんごもちまご
まうゝゝこうらびき。ほうゝゝ山八このあじごもふごあうゝもんろもまゝごまれど。
このやゝりゝ稲のまれいぐゝゝまろまもれ
ごとこうまれろ。ちゝゝ。ほれゝのふごふまて一まて八〳〵。実ふ
ゝまめへさうまきの一女ゝ稲染とまてうゝまめとまてゝゝよ。
ちゝゝといちこいまれはけりゝぶ。はつぼの昼の稲ぐゝとはゝさ

ろいふゝあゝとぷさあろいとあのあとまとあけろまとまと
稲ているとゝいふかいろゝ。今ふゆゆの稲べちゝ数一おれが
まれへいろてやろう一五稲まちぐゝまゆ稲ろせんト
むいて稲いるま稲まふ。ほゝゝもきさハぐまやまとてやろんゝ稲ろゝゝ
ふゝゝてやんぐべてあゝうちゝやろゝゝもゝよびづれまや。おもいまをまやゝゝ
りゝ稲ろゝ。まぐゝろゝくまゝと。ほゝゝゝうえよりゝ目をまゝゝゝ
きへまゝまゝゝろぐゝ。あゝろもひゝろゝゝ。まぐまゝろゝろゝふ。まぐんゝこのゝしゝわけゝげ
きさハよまゝまゝあゝろせんゝとゝゝろゝくゝかきゝちゝ。ほゝゝゝ
きゝおきゝゝろゝとゝゝ。さぐゝゝゝくゝかべゝとゝつゝゝひゝてゆゝゝゝ。ほゝゝゝ。えゝあゝまゝくゝふ
ゝゝよゝへのゝぐゝゝゝろゆゝやゝゝゝゝゝるゝゝゝゝへゝゝゝさゝゝゝゝゝ

[illegible]
[illegible]
[illegible]

「きさまハまゞをこゝふかう」「すゝ」「ゆゝ」「ゆきん」おめへどこへいくこうこう
ちゝの「ゆ」こゝへ「イヤ」をこゝ西ゞ「ちゝ」ん。あそこゝ西ゞ「ゞ」のへ
ゝ孤がかけてあるかゝ。かゝ「ゝ」てくうきこの「ゝ」ゝうちゞ。
「ヤ」ゝそんゞこゝとつの「ナヽ」わんゝこうふ。「ア」ゝあゝこゝふて「ゝ」そん
ゞこゝちふゝこゝ合せゝ。ちゝ「ヤ」ゝ「ヤ」ゝ「ヤ」

なるほど。イヤとてふ稲てあるかぶれまあい　トもとまるぶき
ふのとあげてあるふそだふかいこもおつこうこうこうあつさとはなか
ちくぐらまんどうものあしようひしれてこのろぢそうるこうんとぶりひるる
おりとうてい　一ヤアゆうるさんちちんこうるこうせてこ。おさまこ
ぢやちるこうそれよ今附うちんぜこうるおおこりや今月
ぐいうん月い。ぢぢやるこう。ちるさんこうちのあうそこのう。
うさんこさんこおりひちるこぐり。や饅ケのちんぐや
ちんうこ。ゆぢまこ。ちよしめるはりうありやうおいいつ
世人界　一イヤそれだうこちやぢこちんぷんこうこうさんう

は物をおそとりんでなんぜ地蔵さまのおそなアー
うちかいこりゃ昨日こどもが村で今度建てる地蔵
さまじゃきんのこ石をどのうらうけとりてあしこ
ちらこちら
ちらちさまへおさめやちゃ
ちりていうれぬ。ものをとりまど見せて
おさめる地蔵さまをよろしくたのみまいらせ
こよりのこをふるりしてそうだのまいよ
のおそなもおそるまどやがおまいりこのお
ちくるりいせるいっぞでもそんのいう
もそんのいうぬもらうぞ。

ありがとうふいひあるまいう
稲ぬ。あるこをといひちきん
人ぐ
なんぜ。今月ちさふ稲ぬ
くまあよりとて
ぬ
ぬの稲さ稲ふあるものを。さぐ
あるふをなるる
まるもいで
ちも面ちなんぐ

いしやせう（医師）ゆさいぶで（ぶで）ぜるりんじゃ（ぜるりんじゃ）ぜるもの
おきろうぶぐ。今はとろちぐとふまごついてもおつこと
いつ（よ）はけい。ツイ（よ）ぜ送るまきそ（は）ぜ（柳）のおちるふ。うろえさ
のでごぎろやきと（界）ナニ（ぜ）ぜ送るまきそ。イキちゃちるさ
ふいけりんじゃ。ごこの函ろう。石地義さゑの函ぜ送ふ
まで。ぜ（ぜ）ぜるはりじゃ（ぜ）いぐ（ぐ）ぐろくるおそ
ぬりおろぬ（わ）コリャ（わ）ごんぐ（さえ）ぜふあとぐ。話きんく
トふびろう。せんこくよう。話ぜろ（ぜ）ぜ（ぜ）ぜ（ぜ）ぜ（ぜ）ぜ（ぜ）コリャ（わ）ぐるこも
ぐかよい時ふとこ。ぜ（ぜ）ぜ（ぜ）ぜ（ぜ）ぜ（ぜ）

りよわ〜。きく〜いきくきおさゆりれるゆぞ。いまぐ
秋のあくるゆへわ。ゆあらんこめ〜秋ぐさろふ
きらうくるぐ。きぞ〜くあくて。きや一だん鶏の出
ろくるあめぐ。るのいるさきおもてふきこへ。活〜こへ
きこへいこだあ秋出て上の夜このへやぐて世〜西くと
こちいづるとて

やく〜く海ぐも。ちゆ〜のくん

きかのこやこへ　旧日　市ちうり

のこれより清田村をおもて。素堂ふさ〜かくふふ
ちらいこ　おきい
注集ふ雑〜。男女ちぐ石とうとあたぐ
あうきうらいゆるこ。活〜こへ八月中秋
りつ。ある軽仕よ向ひ　俳モく〜。ゆでぐさう　やと
おぐ　あれ　ちうせへ　ゆ　おうち
えぐド　天蓋ちの時素海きゆ。素名へいとふゆ素
ゆで。今てをそうつせ　せ　かう　ア　ゆ。向へ
ゆ　ト　内ぐえぐ人　海中とおぐく

大あんこう
あて〻ま〻ぐ〻く〻ゆ〻ゆ〻ぐ〻ぐ〻ゆ〻ゆ〻ぐ〻ぐ〻ゆ〻ゆ〻ぐ〻ぐ

十郎ん をすかしてあつらへ ちやうの ふねさあ
あつらへ くちうま 風をひうせ〜
かくよこまをて。ぢ眞ぐ ひろわぐふ。ぢ ぢくも 遊ぶ
ゆいろう。ぢ雨の ぢ屋屋。まんぢうの名 あり 〜お体
おまうまアせ。ぢいぶ ぢんぢうのぬくしんのとあぐう
まアせ。おぐうにもどぐうまアを 〜右衛門のむとあぐう
うぢ〜ぢの 〜かぢやのかぢよくめうもあれきふう
ちー 〜ぢトちや屋ぢを入 〜おちやアあぐうませ 〜まん

ぢうもやちしてえんよ 〜 今 〜 あげませう ト二ぐぐうんぢ りてきる。
ぢうちぐ ぢ〜ぢうまのうとぢて。ぢのこのうくぢ。ぢうぢひとのぢん てんとひう
ぢうぢうるおくこちちぢ〜このちや屋ぢやちこ。ぐうふもちをちひうる
ぢちんぢうぢんぢ 〜 ぢう 〜 やうぢ〜ぢ。ぢ〜ぢもちうるあぐ 〜
おぢ 〜 ぢ屋ぢぐうちんぐ。ぢ〜ぢうげんぢまちぢせ 〜 〜 ある
ぐぐアおぢぐうる 〜 ぢ〜ぢうぢ 〜 ぢ〜ぢもおぢぐ〜ぢう
附。ぢ丁のぢ屋のまんぢうぢ。ぢけぐ〜ぢ二ぢ八ぢ
ぐぐぐぐうはぐぐ。ぢぢぐ〜ぢうぢすぐぢ 〜 ぢう〜ぢい
ぢうぢうぢ附ぢぐうぢ。ぢいぢちぢ屋ぢうぢ。ぢいぢ十ぢう

追分名物胡麻豆
日々蒸返皮類和
菓楽價高か好味
元是縮中砂羊遺

古歌追分節
尾張
黒豆商人

こりゃまた[illegible]おまえ[illegible]
[illegible]。[illegible]
まるこ[illegible]ゃア今てめ[illegible]
[illegible]。まづそめてゑいけるぐらゐ。
ぶへ[illegible]。[illegible]
[illegible]。十四もあづ[illegible]
[illegible]。あま[illegible]
[illegible]。[illegible]
[illegible]。[illegible]

[illegible]。[illegible]
いくらでもまらうまと[illegible]
なんぢ[illegible]お[illegible]
あづ[illegible]
あづ[illegible]。[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]せべ。こんなちがさるものべいてでもらわれる一千
そこまいりませぬ。ちょう。[illegible]。あまりざん
ぶんな。ナヲだうえでて[illegible]せう一十二十ヲぐれ二千
くひちがせべそのろう。ひとりものこさぐらひなをとる
ちくべ。まんぢうの代いりちろん。ふ百文。今[illegible]へ
お初尾とあげやせう一[illegible]やあうぐれてんぷのろ
ゆりて[illegible]せう。トまんぢうぬうろるがやぐそひろるし。ろろく十ヲ
くひて[illegible]。あそいやきあるうろ[illegible]ぐれ。ろろく十ヲ
ろろくのところぐ[illegible]ぐれ[illegible]ぐちぐひ一コリヤおそ[illegible]くる

一おやくのそろう。[illegible]ばさーひのておき、との百
ん下さうませ一今あげやせう。ろう。あくろうんで
ぐろう。りん二十くひちませ。今度へおろと百文、
あげやせう。その文是。くひ稼てこつちへ武百ろうつこ
ぐぐ。ぐぐぐく一おりろんく。ねも[illegible]のさろう
まで。ゆりて[illegible]せう一サカりく今度へ[illegible]ぐ。おもも
[illegible]。そこへ出ておきろトヲ[illegible]ぐ。[illegible]でも
つけてろきゆるろ。よりやりゆくくくくくくくくくくくくくく
二十ろうよせこんひろくへきゆやりるや。このくぐへ[illegible]くくくくくく

まち二十ろて　きまひ。ゑぼし　こえひ
ろの　ろろ　ゑ　ちゑ　ぶ　ぶ　て　これ　あ　ろ　ん。まんぢろの　ぢ　も
よろ　ま　ろ　ん　ま　ろ　め　ち　や　ま　ま。ハ　ハ　ま　ま。ハ　ハ　ま　ま。ハ　ハ

コレ〳〵まめ〳〵さちやァ。そのまんぢうを進ぜやり〳〵つる
コリヤ〳〵あり〳〵で。てんぴ〳〵まらうめ人が被ら出てられ
まら〳〵そんちら〳〵おらうあぐて〳〵つて〳〵ゑ世やァ
ぐ円で。おら〳〵をぐねて〳〵ゑまやァぐろこぴまく〳〵ん
ぐろけてぶちのめそまういる。おいらも神奈りぐ
かんうてやりなせ。えんなろちぐまぬけぐろう〳〵
それぐろうてあんまらうぐ出てゆまぐの洞りで
おれとろ〳〵ゆるまあいせ〳〵。それにむらひぐ〳〵おりひ

ちなせ。あんホらうぐろう〳〵ぐ
ぬきびら
ぬきびら人ま 追分ちなれやまんぢうの
あんのおらちる。初尾ろうれて
一ヲ おりろる稲へ寄れゆんな。モモ〳〵まんぢうの代い
いくらぐ稲一ハイ〳〵のとぐメて。百三十七文でどう
まちと一せ〳〵とぐ稲へトかうぐ出ぐ出ぐ出ぐ出ぐ出ぐ出ぐんな。まんなを
ぬ。まくりてぐろうませ一いや〳〵さうまで
まらうませう一きまな酒とのむら一ハイきけんを紙で

一鉢ざけとりさうまきと酒ののこうこ
ぶりこ。ぶりこさら。かからやぎ。ザ山八ぎけよ
いせさんぐうこまくまる

寄合
原中 猿 要毛五分 上拵

三河国幡豆郡
東浦村
小笠原
三浦光治郎